

第12回 市民と語る会

委員会	戸倉上山田中学校区	議会答弁
議会全体	○市長の専権事項というのは、そんなに強いのか。市民が意思表示する方法はないのか。	○まちづくりアカデミーのアドバイザーは市長が委嘱し、議会の同意は必要ない。 ○市長には執行権や人事権がある。市民に出来ることは、声を上げることであり、議員はそれを伝えていき。市長には「市民の様々な意見を聞く姿勢を持つべきではないか」と申し上げたい。
総務文教常任委員会	○前回質問した、公民館の使用料の不公平について、議会だよりの回答を見ても私の意図したものではない。私も上山田の閉塞感を感じている。公民館格差だけで無く、いろいろな面で上山田が遅れをとっている。 ○他市では「市民会議」というものがあり、市民と議員、市長や執行部も参加する会議である。市民と語る会のようなやり方では、私たちの意向がしっかり執行部に伝わっているか不安である。執行部の考えを聞けるような会議にしていきたい。あらかじめ提出した課題について、執行部を呼ぶ形にしたらどうか。	○今回答は出せませんので、もう一度精査してお答えさせていただきます。
	○9月議会で認定された決算報告について、「標準財政規模」というのがあるが、公表されていない。「財政力指数」「経常収支比率」「積立金残高比率」「実質公債費比率」等々市民に伝えるなら、公表するよう議会から提言してほしい。	○標準財政規模は公表されている。経常収支比率などについて監査委員の意見書は議員に配布されているが、市民の皆様はご覧になれない。大型投資で借金は増えた。義務的経費はH30年90%、R1年91%、R2年92%と増え、投資に使えるお金は減っている。借金返済のピークはR6年頃になる。行政に5年間の財政計画を早くまとめるように求めている。千曲市も独自の涵養策(税金を増やす)を考えなければならないが、屋代地域の大規模開発もその一つになる。
	○千曲市は借金もあるが基金もある。この基金の使い道を検討してほしい。	○基金については約120億円あり、そのうち自由に使えるお金は約37億円。それ以外は用途が決まっている基金である。
福祉環境常任委員会	○障がい者の相談支援をしているが、常日頃感じることは市内循環バスの使いにくさがある。本数が少なく、出かけても帰ることが出来ない。次のバスまで2時間も待つため、障がいのある方が4kmも歩いたそう。タクシー代は無く、循環バスの充実をお願いしたい。	○委員会として、公共交通政策について議論をしているところである。いただいた意見も含めて審査をしていく。
	○医療費の窓口負担について、障がいのある方で支払いが負担で、医療にかかれぬ方が多い。窓口での支払いを500円にするなど出来ないか。障がい者基幹相談支援センターや社会福祉協議会、福祉課に繰り返し訴えてきたが、団体で無いと聞いてくれない。	○障がいのある方の医療費窓口負担については、ご意見を福祉課へ繋いでいく。
	○こうした場で議会に訴えたが、手話通訳や要約筆記が無ければ障がいのある方は参加できない。	○具体的にご意見を伺ったので、しっかり対応したい。
	○地域共生社会一括法が4月から施行され、市では5年計画の「第3次千曲市地域福祉計画」を作った。この中で地方自治体は、予算を伴う新たな事業を作ることが出来るが、千曲市の計画には新たな事業が一つもない。是非議会並びに議員の皆さんから提案をしてほしい。	○「全ての人が住み慣れた地域でその人らしく安心して生活を送るため、地域住民が主体となり社会全体で支え合う仕組みの構築が必要である」とされ、予算を伴う新しい事業を創ることについては調べていく。

<p>建設経済 常任委員会</p>	<p>○上山田が閉塞感を感じているというが、更級地区も農業振興地域で過疎化が進んでいる。H27年に市長に農業公園を要望したが潰された。農業振興地域に農業公園建設を進めたい。議会にも提案を出させていただくので、ご支援をお願いしたい。</p>	<p>○農業分野について、千曲市は大分遅れているという思いがある。委員会の中でも農業振興について検討したい。</p>
<p>総合計画に関する特別委員会</p>	<p>○市民も議会も行政も大前提として仲間ではないか。対立構造ではなく、一つ一つ解決して行ってほしい。しかし、総合計画について市民が確認する機会が無い。市民が参加できる形に議決していただきたい。 ○第三次総合計画について、計画の進捗状況を議会がしっかりチェックしてほしい。</p>	<p>○皆で千曲市をよりよいまちにしていくことが我々の使命だと思っている。</p>